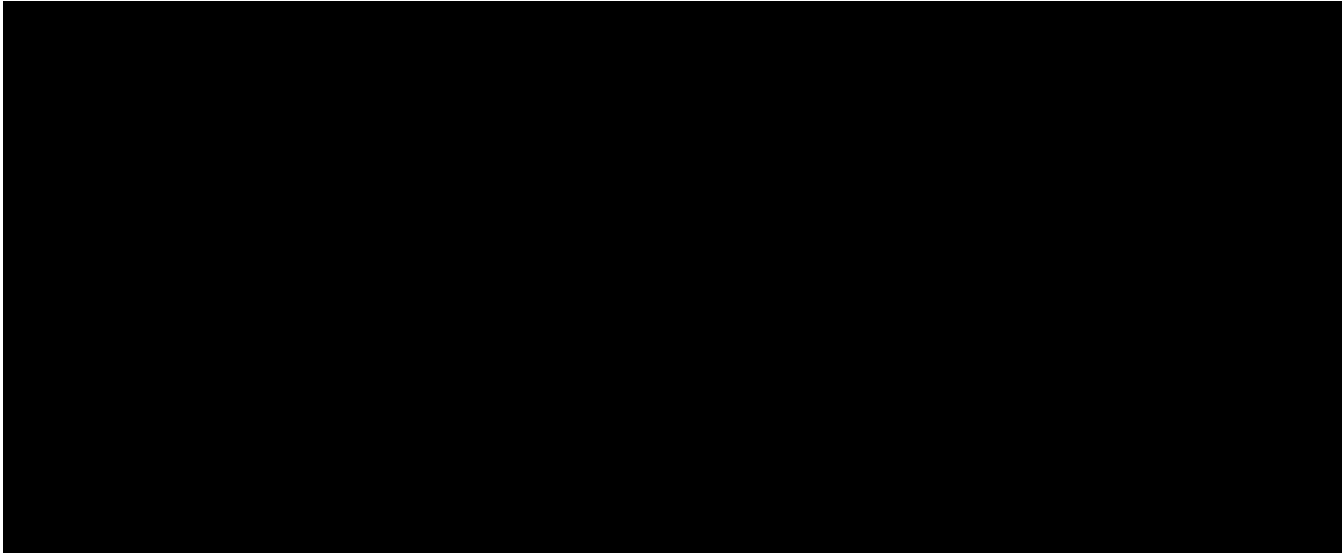
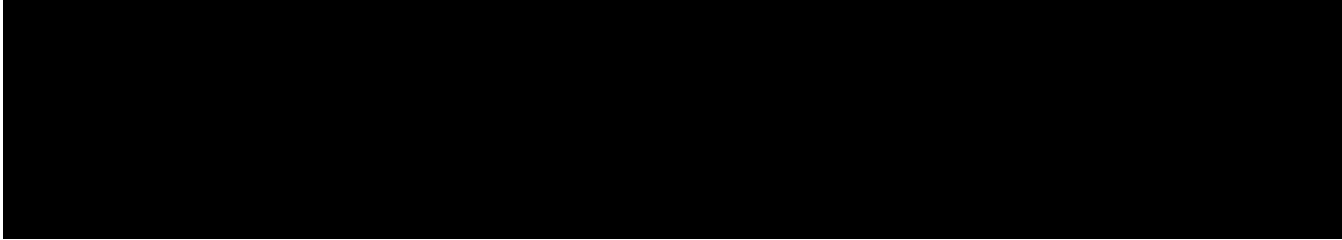
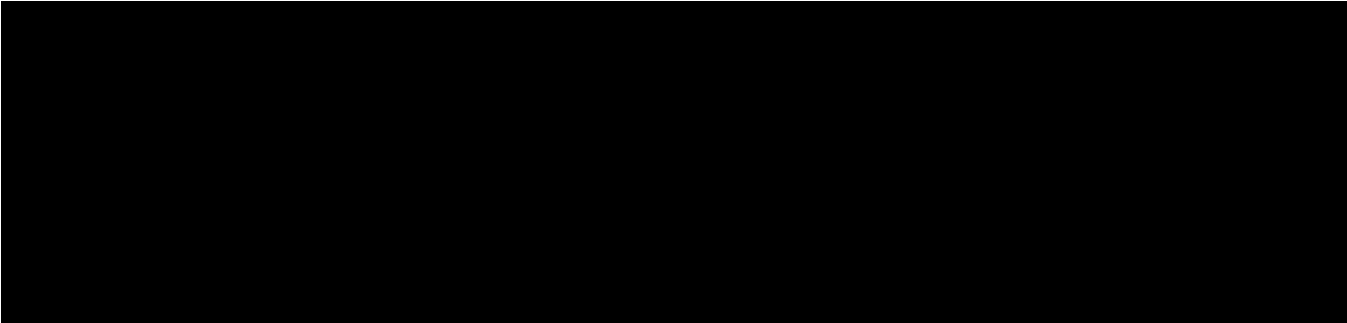


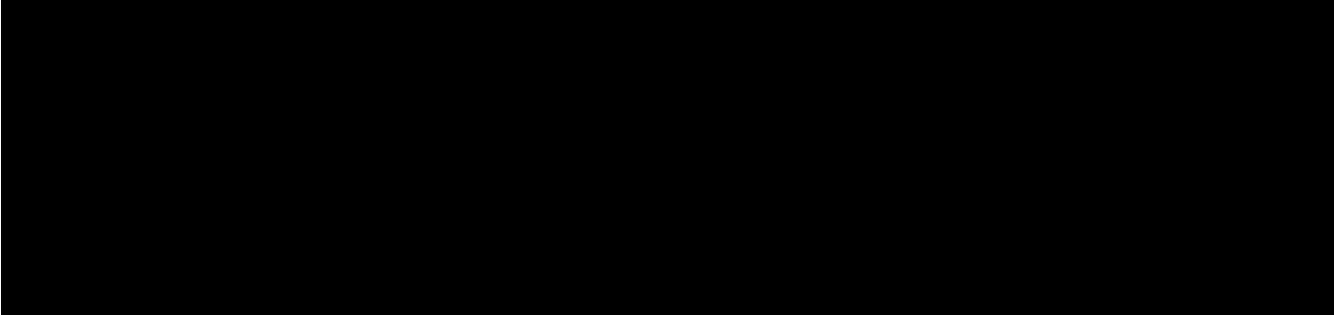
資料19-1～19-3 利用者保護(信頼性・品質等の確保) 関連

項目	対象事業者	質問 / 回答	備考
固定電話の無線による提供			
固定電話の無線提供	NTT	KDDIの資料では、固定電話を無線で提供することに関し、FAX・モデム通信は携帯電話網ではそのまま利用できないとある。 ①無線で固定電話を提供するとあるが、その無線は携帯電話網と考えてよいのか、②その場合、KDDIが指摘するFAXやモデム通信の課題をどう考えているのか。	
	NTT	昨年11月に発表した『固定電話』の今後についてにおいて、「固定電話」の需要減少が続く中、例えば自治体等からの要請による無電柱化(ケーブルの地中化)等といった特殊な事例に限って、メタルケーブルの再敷設にかかる投資を減らす観点から「固定電話」のアクセス回線に光や無線を使っていくことも検討していただきたいと申し上げましたが、NTT東西として現時点、具体的な提供方法を決めて計画しているものではありません。 また、無線によりFAXを利用する方法としては、ネットワーク側で一旦FAX通信により画像情報を蓄積して提供している事業者も既に存在しており(KDDIホームプラス)、今後、仮にNTT東西が無線を利用して「固定電話」を提供する場合には、こうした事例も含め、既存の端末を使ったFAX通信等に影響が生じない方法を検討していく考えです。	
無線による提供	NTT	NTT東西は、無電柱化等に対応して無線により固定電話を提供したいとしているが、その無線にはどのようなシステムを考えているのか。特に、そのシステムの中に、携帯電話網も入っているかが重要と思うが、この点はどうか。	
	NTT	昨年11月に発表した『固定電話』の今後についてにおいて、「固定電話」の需要減少が続く中、例えば自治体等からの要請による無電柱化(ケーブルの地中化)等といった特殊な事例に限って、メタルケーブルの再敷設にかかる投資を減らす観点から「固定電話」のアクセス回線に光や無線を使っていくことも検討していただきたいと申し上げましたが、NTT東西として現時点、具体的な提供方法を決めて計画しているものではありません。	
設備について			
その他	NTT	NTT東西のNGNのSIPサーバは、それぞれどこにいくつ存在するのか。	

	NTT	NTT東西のSIPサーバは、以下のブロックごとにそれぞれ複数台設置していますが、現在の東西間のIPーIP接続では、効率性等の観点からこれを集約して接続しており、他事業者とのIPーIP接続を実施する場合においても、できる限り集約していきたいと考えています。 【委員限り】 	
提供区域内の通信回数・時間 及び 災害時の通信規制			
その他	KOP、QT、ST、TOHK	任意の月について、御社のユーザ発信の呼のうち、直接相互接続事業者及びNTT東西のIGS接続に接続するトラフィックにおける、サービス提供域内宛トラフィックとそれ以外の通信回数と通信時間。IGS接続経由のトラフィックの、同時接続回線数の日別最大値。（ハブ機能利用トラフィックのピークを知りたいという趣旨）	
	ケイ・オプティコム	【委員限り】 	

	九州通信ネットワーク	域内、域外の通話回数および通話時間につきましては、以下のとおりです。 【域内】 通話回数：約560 万回 通話時間：約789 百万秒 【域外】 通話回数：約74 万回 通話時間：約180 百万秒 また、災害発生時等の突発トラフィックを除き、通常状態で、IGS 向けの最大の同時接続数は、約4,000 となっております。										
	STNet	至近における当社発信トラフィックの発生状況は、以下の通りです。 <table><tr><td></td><td>サービス提供区域内</td><td>区域外</td></tr><tr><td>通信回数</td><td>約 320 万回</td><td>約 40 万回</td></tr><tr><td>通信時間</td><td>約 330 百万秒</td><td>約 70 百万秒</td></tr></table> 同時接続回線数の至近6ヶ月における日別最大値は、以下の通りです。集計の都合で県別となっておりますことと、最大値が発生した月は県によって異なることをご了承ください。 香川県 約520回線 愛媛県 約310回線 徳島県 約360回線 高知県 約230回線		サービス提供区域内	区域外	通信回数	約 320 万回	約 40 万回	通信時間	約 330 百万秒	約 70 百万秒	
	サービス提供区域内	区域外										
通信回数	約 320 万回	約 40 万回										
通信時間	約 330 百万秒	約 70 百万秒										
	東北インテリジェント通信	当社は、直接相互接続している事業者はNTT東日本のみで、その他の事業者とは直接相互接続していません。 ご質問のデータについては、別紙(別紙については、委員限り)にて回答します。	補足資料あり									
その他	KOP、QT、ST、TOHK	東日本大震災以降の災害等発生時、相互接続事業者(直接・間接を問わず)の輻輳又は通信規制により、御社のユーザが相互接続事業者に接続不能となった場合のその利用者数と御社の利用者全体に占める割合。同時期において、接続不能となった呼と接続できた呼の呼数。										
	ケイ・オプティコム	相互接続事業者の要請によって当社側が通信規制を行なった実績はございません。 一方、相互接続事業者側の輻輳または通信規制で、弊社のお客さまが接続不能となった場合においては、影響の調査・分析は実施していません。										
	九州通信ネットワーク	相互接続事業者の要請により、弊社が通信規制を行なった実績はございません。										
	STNet	東日本大震災時に通常の2倍程度に増加したものの、ご質問の通話規制による接続不能等には至っておりません。 これは、当社ユーザの通話の大半(8割超)が四国域内の通話であり、域外への通話は少数であることに起因していると考えられています。										
	東北インテリジェント通信	相互接続事業者が輻輳又は通信規制を行ったことを当社で把握することが困難なため、ご質問の趣旨に沿った回答ができません。 (参考) 現在、当社内発着を含む全通話のうち、PSTNのPOIを経由する通話が約94%であります。仮にPOIに障害が発生した場合の影響は甚大になると想定されます。										

その他	NTT、KDDI、SB、Ncom	東日本大震災以降の災害等発生時(イベント、年末年始等を除く)に実施した、輻輳に伴う通信規制を実施したエリア、その時間及び規制率の一覧。	
	NTT	PSTNでは、災害等発生時に、ある交換機に交換処理を圧迫するほどの着信のトラヒックが集中した場合、重要通信を確保するため、当該交換機へは発側交換機において発信を規制します。 なお、他事業者(携帯事業者含む)からの当該交換機への発信については、相互接続交換機で接続規制をかけています。 東日本大震災以降は、6件の輻輳規制を実施しております。 【委員限り】 	
	KDDI	【委員限り】 別添資料のとおりです。	補足資料あり
	ソフトバンク	・総務省報告基準に該当するケースは、東日本大震災以降は発生していない	

	NTTコミュニケーション	東日本大震災以降、計6件の通信規制(規制エリアに向けて発信された呼に対する規制)を実施しております。 【委員限り】 	
--	--------------	--	--